

【事例 H29-5】 沖縄県

若年層対策講演会

【概要】石垣市が NPO 法人ラブ・ピア・プライスやいまと連携して実施。思春期や若年者のことについて、その中にある「生きたい」という思いをくみとれる存在になるためにはどうしたらいいかを考える機会として、「思春期・若い人たちのことについて、みんなで考えよう」をテーマに若年者向け、思春期の心の問題をテーマに講演会とグループワーク（10代のピアサポーターと講師による討論形式）を実施。

【大綱の分類】

2. 国民一人ひとりの気づきと見守りを促す
5. 心の健康を支援する環境の整備と心の健康づくりを推進する
11. 子ども・若者の自殺対策を更に推進する

【政策パッケージ分類】

- 基本3-2) 市民向け講演会・イベント等の開催
- 基本5-1) SOSの出し方に関する教育の実施
- 重点1-2) 若者の抱えやすい課題に着目した学生・生徒等への支援の充実
- 重点1-5) 若者自身が身近な相談者になるための取組
- 重点1-6) 社会全体で若者の自殺のリスクを低減させるための取組

【事業実施年度】2018年度事例

【事業予算】33,000円（2018年度）

【利 点】

- ▼ 学生、学校関係者、家族、地域の方等がそれぞれ青少年の居場所づくり、生きづらさ等について理解を深めることができる。
- ▼ これまで思春期の子どもたちに寄り添い、さまざまな企画を実施している NPO 法人と連携することで若年層への関わりを充実することができる。

【実施に至るまで】

若年層を対象にする理由

- ① 潜在的に存在する希死念慮を抱えた若年層への対策を行うことができる。
- ② 普段なかなか接することがない10代のこころの内を聞くことで、現代の10代の悩み等を知ることができる。
- ③ 若年者の子を持つ保護者が参加することにより、子のことで悩んでいる保護者の悩みの解決の一つとなる。
- ④ 若年層向けの講演会がこれまで殆ど開催がないため、若年層向けの講演会を希望する声があった。

計画を立てる上での工夫

- ① 学校関係者等も参加しやすい日曜日の日中に行った。
- ② 10代のピアサポーターが参加することにより、若年者が参加しやすい雰囲気を作った。
- ③ 手話通訳者を配置することで、ろう者も参加出来るよう配慮した。
- ④ 事前に講師と当日の流れ等を入念に調整を行った。
（会議6回、メールや電話打ち合わせ4回）

具体的な内容

▼ 講演会（三部構成で実施）

- ・第一部 ～聞いてみよう 若者の気持ち～
NPO 法人ラブ・ピア・プライスより、助産師や企業代表、ピアサポーターによる討論形式による話
- ・第二部 ～若い人達のこころとからだの話～
助産師による講義
- ・第三部 参加者とのフリートーク

▼ 相談場所の紹介

- ・市内にある相談窓口と LINE・チャット等でのこころの相談のできる相談先のチラシでの紹介（QRコード対応）

▼ 個別相談票の提供

- ・自殺未遂等に関する個別相談をご希望のかたに、アンケートと同用紙に記載できる個別相談票を設け、帰りに回収 BOX に入れてもらうことで後日個別相談希望のかたに連絡をし相談を受け付ける体制を作った。

▼ 幅広い広報と講演会の周知

- ・新聞、SNS、チラシ配布、広報誌、ホームページ等を活用し幅広く広報を行った。
- ・様々な広報を行うことにより、幅広い年齢の参加者を募った。

【成 果】

- ▼ 地域新聞へ取り上げられたことにより、若年層を取り巻く環境について地域住民への啓発につながった。
- ▼ 講演会後のアンケートの結果から、本講演会の内容に興味があったためとの回答が多く、幅広い市民の参加に繋がった。
- ▼ 講演会後のアンケートの結果から、自分の子供との関わり方の参考になったとの回答があり保護者視点でも良い講演会になった。
- ▼ 参加人数 49 人、アンケート回収 16 枚
講演会の満足度（大変良い、良い回答）87%
今後役に立つ内容でしたか（大変役に立つ、役に立つ、まあまあ役に立つ）93%
参加者感想一部抜粋
 - ・若者から実際の悩みや課題をきけて良かったです。若い人から話を聞ける貴重な場でした。
 - ・若い方の考え方・体験談を聞くことができ私たち大人にできること、できていなかったことを考えることができました。「声なき心の声」に気づいていける大人でありたいと思いました。

【補 足】

（チラシ表）

石垣市自殺対策強化推進協議会

「思春期・若い人たちのこころについて、みんなで考えよう!!」

思春期の子どもたちにより、さまざまな企画を開催されてきたNPO法人ラブ・ピア・プライスやいまの方々を講師にお招きして、リストカットなど、心の問題を抱える「今どきのこども・若者のこころ」をみんなで考える講演とグループワークをおこないます。

若いかたも、お子さんも、大人も先生も、支援者も、どなたでも参加OK!!ぜひお問い合わせの上、ご参加ください!!

日時：3月17日(日)
13時30分～16時30分

場所：健康福祉センター検診ホール

講師：NPO法人ラブ・ピア・プライスやいま
大谷 タカ子氏（まつをレディースクリニック師長）
津嘉山 航氏（(株)ゆにばいしが代表取締役）
宮良 香帆氏（思春期ピアサポーター）

参加費：無料

※ 人数によってはグループワークではなく、個別ワークになる場合もあります。

手話通訳あり

【問合せ先】
石垣市 福祉部 障がい福祉課

TEL 0980-82-9947
FAX 0980-82-1580

（チラシ裏）

平成30年度石垣市自殺対策強化事業
講演会申込書

平成31年3月17日(日)13:30～16:30
石垣市健康福祉センター 1階検診ホール

FAX番号 _____
送信者 _____
(機関名: _____)

<受講申込書>

	氏名	連絡先	備考
1			
2			
3			
4			

<参加時の配慮について>
手話通訳が必要() ・車いすでの参加()
その他、配慮が必要なことがありましたら、ご記入ください→

FAX 0980-82-1580
石垣市障がい福祉課 松村あて

※当日参加も可能ですが、事前申し込み頂けると助かります。

*締め切り 平成31年3月8日(金)

八重山諸島のニュース・石垣島・竹富島・西表島・新城島・小浜島・鳩間島・黒島・波照間島・与那国島

2020年9月9日(水) 本日の予報 曇時々雨

視野は世界 視点は郷土
The Yaezama Mainichi **八重山毎日新聞**

社会・経済 政治・行政 地域・教育 芸能・文化 スポーツ もっと見る 業界

「SOSキャッチして」 自殺対策強化事業

2019年03月18日 社会・経済, 地域・教育 [ツイート](#) [いいね! 17](#)

10代ピア会員が体験談



石垣市の2018年度自殺対策強化事業（若年層対策事業）で「思春期・若い人たちのこころについて、みんなで考えよう」をテーマにした講演会が17日午後、市健康福祉センターで開かれた。NPO法人LovePeerPriceやいまの10代のピア会員3人が不登校や自傷行為をする若者が抱える心の問題を紹介、「大人に相談できない現状もある。声なき声に気づき、SOSをキャッチしてほしい」と若者の立場からメッセージを送った。

講演会では宮良香帆さん（19）、前三盛ひまりさん（同）、宮良あゆみさん（同）の3人が自身の体験談や周りの仲間が抱える悩みを例に挙げて討論した。

友達レベルでカバーできない悩みを親に話そう動いても、当事者から「親に言ったら否定され、殴られるから頼れない」と返されたり、担任に悩みを打ち明けても「悩んでることは知っていたが、その子が話すのを待っていた」と言われたりする例を挙げた。

笑顔で気丈に振る舞っていても、手首にはリストカットの痕が残る生徒、校内でのうわさ話がエスカレートして継続して学校に通うことを躊躇する生徒もいたという。「その子たちには、周囲に信頼できる大人がいなかった」と話した。

進学や就職で島外に出た八重山出身者が引きこもり、島に戻れずに苦しんでいる現状も報告。「その子たちと会い、話をしていっぱい悩んでも答えは見つからない。こうした現状を島の大人たちが考えてほしい」と訴えた。

同団体の大谷タカ子代表は、自傷行為を行う若者援助の最終目標について「自傷行為が消失することではなく、生き方を変えて新しい自分になること」と説明した。

約40人が来場、当事者の子どもが相談しやすい環境とは何か、援助にあたって理解しておくことは何かについて考えた。

・ タグ： 自殺

この記事のURL 

【課題】

- ▼ 10代や高校生等の参加者が少なく、時期的に高校3年生は石垣島を離れる時期になるため 今後は日程の調整や学校での開催等を考える必要がある。
- ▼ 学校関係者の養護教諭や先生等の参加が少なく、学校の先生向けの広報、周知も必要だと考える。

【事業種別】	若年層向け自殺対策強化講演会
【準備期間】	30日
【人数】	19名（内自治体担当者3名、自治体当日スタッフ7名）
【人口規模】	49,765人（2019年10月末時点）
【財政規模】	13,974,174円（2018年度）
【自治体負担率】	33%
【事業対象】	一般市民
【支援対象】	若年層
【委託の有無】	有
【実施主体・問合せ先】	石垣市福祉部障がい福祉課 TEL：0980（82）9947 Mail:fukushi@city.ishigaki.okinawa.lg.jp

【参考資料・文献】

- (ア) 石垣市 HP <https://www.city.ishigaki.okinawa.jp/index.html>
- (イ) 八重山毎日新聞（2019年3月18日） <http://www.y-mainichi.co.jp/news/35137/>